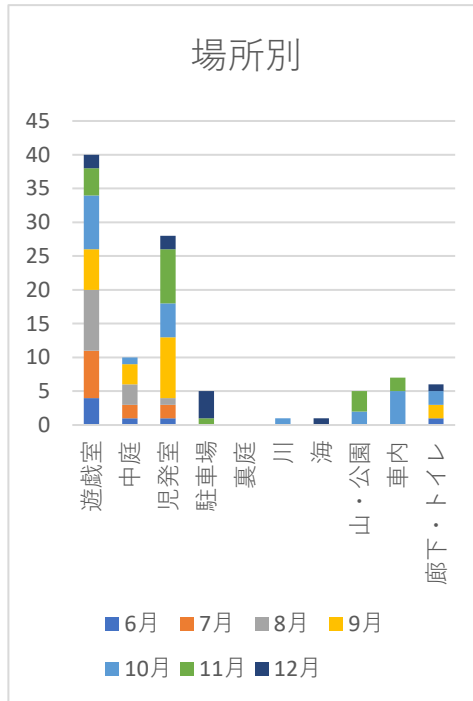
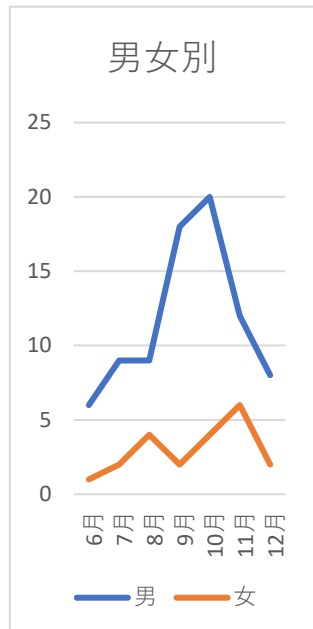
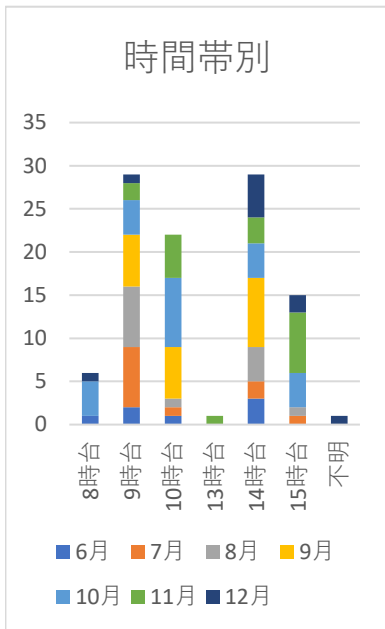


6月～12月事故報告統計分析（児童発達）



月別件数	転倒	転落・とびおり	衝突	打撲	指はさみ	噛みつき・ひっかき	捻挫・突き指	外傷（擦り傷・切り傷）	異食・誤食・誤薬・アレルギー	感染症（発熱・嘔吐）	車内トラブル	その他（脱走・他害行為など）	不明
6月	1		1	2		2			0	0		1	
7月			3	1	1	2		3					1
8月	1	0	4	3		1		2				1	1
9月	5	1	6	1		2		3	1			1	
10月	4	3		3		1	1	4	1	3		4	
11月	3	2	2	2	0	2	1	3			1	2	
12月	2	2						2					

	活動内容・周辺状況	要因の遊具・用具	子ども同士の関り（特性）	不明
6月	1	2	3	1
7月	5	1	3	2
8月	8	1	2	2
9月	13	2	5	
10月	13	4	4	3
11月	5	3	8	2
12月	3	1	2	

現在、実施されているマンツーマン対応が現場に即しているのか、事故件数報告が減少している（10月24件→12月10件）12月の報告内容としては、バランスを崩して転倒、歩いていてこけるなど、手をついて擦り傷など

12月感染症の流行に対して、送迎時の対応の共通理解が必要
（体温測定・マスク着用）

活動中の体温測定・容態変化への対応・手洗い・うがい・水分補給の実施の強化

活動内容としては、草むしりでバランスを崩して転倒、歩いていて転倒、海で手をついて転倒等があるので、身体づくりの支援を進めていく。